

いわきの里だより

第7号

平成26年10月25日

発行責任者
統括施設長 延々 礼子



基本理念

1. 私達は、利用者の皆様の尊厳を保障し、お一人お一人が最期まで輝き続け「よりよき老後」をお過ごしいただけるよう支援します。
1. 地域の皆様の拠り所として信頼され、発展し続ける施設を目指します。

地域密着型特別養護老人ホーム サンシャインよしま
ショートステイよしま
小規模多機能型つどい

地域密着型特別養護老人ホーム ひなた (平成27年3月オープン予定)

地域密着型特別養護老人ホーム ひなた (平成27年3月オープン予定)

- ◆ 平成27年3月、いわき市明治団地に「地域密着型特別養護老人ホームひなた」がオープンします。

【施設概要】

- ・名称：地域密着型特別養護老人ホーム ひなた
- ・住所：いわき市明治団地12-19
- ・利用人数：29名
- ・開所日：平成27年3月1日(予定)

- ◆ 施設のオープンに伴い、職員を募集しています。ご希望の方は、履歴書(写真添付)をページ下の住所まで郵送して下さい。また、友人・知人の方で就職をご希望の方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。

【募集職種・人数】

- ・介護職(正職員・準職員) 6名
- ・介護福祉士 1名
- ・入浴パート 2名

- ※ 勤務開始は2月1日からの予定です。
- ※ 詳細は下記のホームページをご覧ください。



里の音楽会 ~ 好間高等学校 ~

10月11日、芸術の秋にふさわしいイベント「第1回 里の音楽会」が開催されました。好間高等学校音楽部の生徒さんによる琴の演奏及び合唱、ご利用者様・ご家族様・職員を交えての合唱が行われました。

歌詞カードは生徒さんの手作りで、演奏曲・合唱曲は「紅葉」「ふるさと」等の季節に合った親しみのある曲ばかりで、幼い頃・若い頃を思い出しながら楽しんでいただきました。



行事予定

【平成26年】

- 10月 芋煮会・避難訓練
- 11月 紅葉狩り
- 12月 クリスマス会

【平成27年】

- 1月 お正月
- 2月 節分
- 3月 ひなまつり

※ お誕生会も開催します。お楽しみに!!

施設からのお知らせ

◆ いわきの里では、施設の見学・入所のご相談を随時受け付けております。お気軽にご相談下さい。

◆ いわきの里の最新情報は、下記のホームページをご覧ください。

◆ 広報誌「いわきの里だより」へのご意見・ご要望もお待ちしております。

編集後記

「いわきの里だより(第7号)」をお届けします。夏が終わり、一年で一番好きな秋がやって来ました。ご利用者様には「いわきの里まつり」をはじめとするたくさんさんのイベントに参加していただき、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。今後、施設の最新情報をタイムリーにお届けできるよう、スタッフ一同努力してまいります。

【編集担当】 吉田・若松・山崎

発行



社会福祉法人 いわきの里

〒970-1145 福島県いわき市好間町北好間字外川原33-1

◆ TEL: 0246-36-6006(代表) ◆ FAX: 0246-36-6016

◆ E-mail: soumu@iwakinosato.jp ◆ ホームページ: http://iwakinosato.jp/



いわきおどり
雨の中、びしょ濡れで踊りました



いわきおどり
踊りと熱気に圧倒された一夜でした



好間中学校体験学習
マルマルモリモリで盛り上がりました



特製ケーキでお誕生会
やっとう〇〇歳になりました



今年も家庭菜園は
大豊作で一す!



小谷作青年会のじゃんがら念仏踊り



内郷一中体験学習
歌や紙芝居で楽しい時間を!



今年の夏の思い出

第2回 いわきの里まつり



好間高校のフラダンス



平商業高校のじゃんがら念仏踊り



さくら保育園の和太鼓



会場はたくさんの来場者で溢れました



炎の調理人 参上!



どの屋台にも長い行列ができました



受付レディ4人組
応援ありがとうございました



バザーも大盛況でした!



ヨーヨーすくい
大好きなピンク色をゲット!



射的
狙うのはもちろん一等賞!

九月十三日、地域密着型特別養護老人ホームサンシャインよしまの駐車場において、「第二回 いわきの里まつり」が開催されました。途中、小雨が降りましたが、会場内では多くの団体様による演奏や踊り、屋台・娯楽・バザー等が行われ、ご利用者様・ご家族様・来場された皆様には、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

皆様のご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございます。



医療・介護・福祉用語の解説

◆ 認知症ケア

【認知症のひととの関わりの基本】
私たちは、日常、タオルを使って顔を洗ったり、歯ブラシを使って歯を磨く等の生活行為を行っています。しかし、認知症という状態になった時、この道具は何なのか、どう使えばよいのかわからないことが起こってきます。そして、このような状況を見た周りの人たちは、この人は「何もできない」と誤った理解をしてしまいがちです。

日常生活行為のどの部分でつまづいているのかを見極めながら支援の手を差しのべることで、この人が「できること」を維持することが保たれているので、相手を思いやる気持ちや気遣い等、人として大切な部分は保たれているのです。

誤った理解のままでは関わりを続けると、認知症の人ができることを奪ってしまったり、間違ったことをした時に叱責してしまう等、認知症の人の自信を喪失させることにつながります。認知症の人は「何もできない」「わからない」わけではありません。「できないこと」にばかり目がいてしまい、本人の意欲を喪失させないためにも、認知症の**中核症状**を理解してあげることが必要です。

※ **中核症状**とは、脳の細胞が壊れることにより、一度獲得した認知機能が障害され、様々な行動障害が起こる状態を指します。

接遇委員会からのお知らせ

接遇とは「相手に対して、おもてなしをする心の表現」です。いわきの里では、この基本を忘れず心のもった対応を心掛けています。ご利用者様・ご家族様への対応はもちろんのこと、電話・接客マナー等、職員全員が常に初心を忘れず積極的に応対できるように努力します。

- ◆ 十月・十一月「あいさつ美人」
自分から挨拶する事で、相手に気持ち伝わります。
- ◆ 十二月「言葉美人」



セラピー(癒し)担当紹介

セラピー担当の「ミミ」です。ロンちゃん一家の「取り」を務めます。ご利用者様の笑顔を求めて今日も頑張ります。ヨロシク!



ミミちゃん

がんばるワン!